

# 算数科年間指導計画

## 第3学年

### 学習目標

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにする。
- (4) 資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにする。

### 授業の工夫

児童が、算数の学習は楽しいと感じ、役に立つということに気づくような授業を心がけていきたいと思えます。そのために、身近な問題を多く取り入れていきます。また、基礎的な知識や技能を日常生活や学習の場に適切に用いることができるように計算や測定をするなど作業的・体験的な活動を多く設けます。中学年の算数は計算技能の習得が大きな比重を占めます。確実に計算技能を身に付けさせていくために繰り返し練習する場を多くもちます。

### 年間授業計画

月	単 元 名	時数	
4	1. たし算とひき算	16	<p>〔評価の観点〕                      【算数への関心・意欲・態度】                      知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。</p> <p>【数学的な考え方】                      算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】                      整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】                      数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。</p>
5	2. かけ算	12	
6	3. かけ算のひっ算 4. 時間と時刻	18	
7	5. 表とグラフ	8	
9	6. 長さ 7. かさ	16	
10	8. わり算	12	
11	9. 形 10. 大きな数	21	
12	11. あまりのあるわり算	11	
1	12. 2けたのかけ算	11	
2	13. 重さ 14. 箱の形	16	
3	そろばん 15. 3年のまとめ	9	
年間授業時数		150	<p>〔評価の方法〕                      進んで算数の学習ができるかについては、授業への参加態度や宿題・ノートなどの提出物、発表等で評価します。その他は、単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、ノートやプリント類への作業や普段の学習の様子なども加味して評価します。</p>